

最初のお話をします。

先日、あるニュースを見ていたときのことです。あります。そこでは、学生たちが作ったというポスターが紹介されていました。どのようなテーマで作られたのかといいますと、詐欺の被害を防ぐというものであります。どの作品もよくできていまして、被害の防止に役立ちそうなものばかりでありました。そこで、今日は詐欺に関することについてお話をしたいと思えます。皆さんは、詐欺といえは何を思い浮かべますか。いろいろなケースがあると思いますが、特に問題になっているものがあります。それは、電話を使いまして、高齢者からお金をだまし取るというものであります。このような犯罪が起きていることは、皆さんも聞いたことがあると思います。

具体的には、どのような方法で行われるのでしょうか。例えば、犯人は、離れて暮らす家族のふりをして電話をかけてきます。また、家族の会社の人でありますとか、警察官のふりをすることもありえます。そして、トラブルがあったなどどうそをつきまして、お金を用意するように要求するのであります。私の知り合いも、こうした電話がかかってきたことがあるそうであります。お金を取られることはなかったのですが、決して人ごとではありません。

それでは、どうすれば被害をなくすことができるのでしょうか。

まず、このような詐欺について知っておくということが大切であります。インターネットなどで調べますと、こういった事例がたくさん紹介されています。また、非通知でかかってくる電話にはできるだけ出ないようにするのであります。それから、話の内容を録音するというのも効果的であります。犯人は、証拠を残したくないと思うものであります。録音されていると分かりましたら、すぐに電話を切るという犯人もいるそうであります。

ほかに、ある取組が有効であると言われております。それは、声かけであります。例えば、電話をしながらお金を引き出そうとしている人がいたとします。その様子を見て、もしかしてだまされているのではないかと思ったら、その人に声をかけるのであります。これは、主に銀行でありますとかコンビニで働く人たちが行っているようではありますが、私たちも、勇気を出して声をかけてみるとよいかもしれません。実際に、この取組によって被害を防いだ事例がたくさんあるのであります。

私は、周りの人たちにもこのような対策があるというのを伝えたいと思っているのであります。

次のテーマに入ります。

都会に出かけて駅前などを歩いていますと、とても高いマンションを見かけます。これを見上げると、首が痛くなりそうであります。このようなマンションは非常に高いので、まるでタワーのようであります。実際に、そういう名前でも呼ばれているのであります。

私が子供の頃には、都会へ行きまして、このようなマンションはそれほど建っていないかっただと思います。少し調べてみましたら、それは事実だったのであります。つまり、私の記憶違いではなかったということが分かりました。実は、法律によって厳しい基準が設けられていたのであります。

まずは、その高さであります。かなり昔の話になりますが、戦後、日本が少しずつ経済成長を始めた頃であります。その当時は、建設してもよい建物について、その高さが制限されていました。

ほかに、多くの規制がありました。それは何かといいますと、日当たりが悪くなつてはいけないということでもあります。また、広い土地に建てなければならぬということでもあります。そのため、高さのあるマンションは、都会から少し離れた場所にありますとか、海の近くに建設されることが多かったのであります。

その後、こういった規制が段階的に緩和されました。こうして、非常に高いマンションが登場してきたのであります。その流れは全国的に広がりました。皆さんが住んでいる町でも、こういった変化が起きたのではないのでしょうか。

さて、このような建物が登場した頃には、人々の憧れのようなものがありました。なぜかといいますと、裕福な人が住むというイメージがあつたからであります。実際に、テレビなどでは、有名な人が住んでいるということが紹介されていきました。しかし、その数が増えたことで、必ずしもそうではなくなりつつあります。

一方で、こういったマンションはまだ歴史が浅いために、今後の課題もあります。例えば、古くなったときには直さなければなりません。いずれ老朽化したときに、高い建物をどのように直すかということについては、方法が決まっていないようでもあります。一つの建物にたくさんの方が住んでいますので、話し合うのも簡単ではありません。

私は、こうしたマンションができることによって、町がどのように変わっていくのかというのを見ていきたいと思えます。その上で、将来はどのようなところに住むのかということについても、検討していきたいものであります。最後に、勉強についてのお話をします。特に、

社会人になってからの学びについてであります。

私は、数年前に社会人になりました。それから、ふだんの生活におきましても、学生時代とは心構えが変わつたのであります。例えば、テレビを見るときにも、ニュースの解説をしていくような番組を選ぶことが多くなりました。

そうすることによって、少しでも社会人としての知識を身につけたいと思つたからであります。それに関連しまして、本を選ぶときにも、こういうことに気を配るようになりました。以前は、小説を読むことが多かつたのであります。しかし、社会人になってからは、仕事に役立ち

そうな本を選ぶようになったわけでありませう。最近では、そういった本がたくさん出版されているのであります。例えば、経済の仕組みでありますとか、世の中で起きていることについて解説された本であります。中には、趣味に近いような分野のものもあります。例えば、名作と言われている文学の内容を紹介しているようなものがあります。

このような本には、共通していることがあります。それは、短時間で読めるということでありませう。どの本でありましても、中身が詳しく書かれているというわけではありませう。それぞれについて、ポイントがまとめられているのであります。

では、そういう本を読む人たちは、何を指しているのでしょうか。それは、幅広い知識を身につけることができるということだと思えます。そうすれば、様々な分野の人たちと交流するチャンスも増えます。また、仕事にもよい影響を与えるのではないかと言われています。

一方で、こういった傾向につきましては疑問の声もあります。そもそも、このような知識は手軽に得られるものではないという指摘であります。むしろ、自分が興味のある分野を、じっくりと時間をかけて身につけるべきだという意見であります。

私は、こういった指摘も正しいと思つています。しかし、社会というのはどんどん変化していきます。自分が働いている分野が今後どのように変化をしていくのかということも、予測しにくいのであります。そのような中で、何が起きてても対応しやすいように、いろいろな知識や話題について知っておくことは有益ではないでしょうか。

今後、このような学びを通じまして、強い関心を持つ分野が出てくるかもしれませう。私は、そのときには長い時間をかけて知識を深めていきたいと思つたのであります。(丁)